



京都府立医科大学附属病院 病院病理部(人体病理学教室)

病理医とは？

臨床医からの診断依頼に応え、顕微鏡的観察を中心に、「疾患の確定診断」を行う医師。
私たちの診断を中心として医療が動く、非常にやりがいのある仕事です。
欧米では“ Doctor of Doctors”として大変尊敬されています。

【教室の概要】 2020年4月1日現在

〈医局構成員〉

病院教授：1名、講師：1名、助教：3名
病院助教：1名、専攻医：5名

〈診療実績(本学)：2019年度〉

組織診 10519件(術中迅速337件)
細胞診 8503件(術中迅速210件)
剖検 25件(3教室併せて)

〈病理専門医と病理専門医指導医の総数〉
約2000名(医師総数の約0.8%)



業務内容： 病理組織診断、細胞診、術中迅速診断、手術材料切り出し、病理解剖、CPC開催
関連病院との病理カンファレンス、各臨床科とのカンファレンス、学生指導

見学・入局のご相談は 病理診断科 075-251-5668 小西(b_hisyo@koto.kpu-m.ac.jp)



病院病理部への見学・ご相談、お待ちしております

どの科を志すか、
決められない・・・
いろいろな臓器に興味があ
って迷う・・・

臨床をしながら
研究にも取り組みたい！



臨床をしたいけど
体力に自信がない・・・

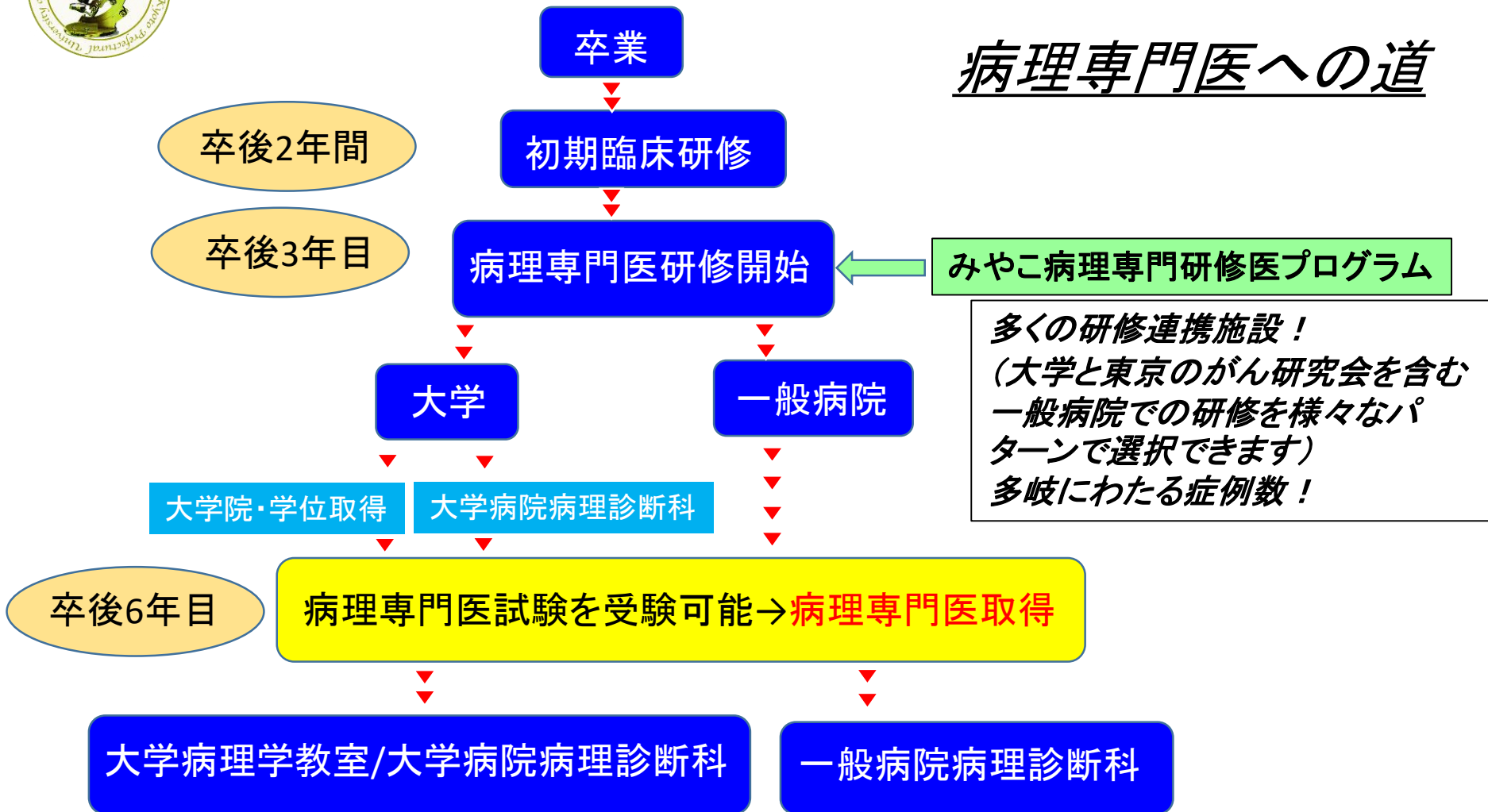
結婚・出産しても
働きやすい臨床科は
ないかしら・・・

AIが病理診断するよう
になるって聞いて病理
医の仕事が将来無くな
らないか心配で迷って
いる。



病院病理部への見学・ご相談、お待ちしております

病理専門医への道



〈主な関連病院〉

附属北部医療センター、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、京都市立病院、福知山市立病院、大津市民病院、近江八幡市立医療センター、松下記念病院、洛和会音羽病院、明石市民病院、国立大阪医療センター、大阪国際がんセンターなど約20か所に常勤病理医あるいは非常勤病理医を派遣。さらに連携施設として、がん研究会や川口総合病院など関東にも連携先を確保。